

日時：平成 29 年 3 月 2 日（木）開始：19 時 00 分 から 終了：20 時 30 分

会場：岡臨技事務所

出席者：会長：岡本由美

副会長：黒川幸徳、木村泰治

理事：藤岡克徳、福島明德、中川裕美、植本美佐夫、高津昌吾、佐藤達郎、  
小林尚子、櫻井博重、東影明人、中西智宏、藤本一満、石松昌己、  
藤田 勝、佐野公子、久保田哲司、花房恵美子

陪席：山本芳枝

監事：

委任欠席：河口勝憲、泉 礼司、丹下雅貴、筑地日出文、梶谷博則、鳥越宣宏、岡田 健、  
間嶋秀伎

出席 20 名、委任欠席 8 名

書記：東影明人、中西智宏

議事録署名人：黒川幸徳、藤岡克徳

議題：

・議事録確認

1. 29-02 理事会議事録 (岡本 資料 03-01)  
承認された  
・「臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業」  
岡山県より心臓病センター榊原病院 玉木俊治が講習会を受講される  
・一部訂正：常務理事会 偶数月第 2 木曜 第 1 木曜

・行動報告

- ・特になし

・経過報告

1. 総務担当関係

- 1) 来簡 2 月分報告 (藤岡 資料 03-11)  
承認された
- 2) 会計報告 10 月分 (福島 資料 03-12)  
承認された  
・接待交際費について  
講師宿泊費・懇親会費等を会費より負担する場合、事前に会長に相談する  
・学術セミナー費の入金状況について  
2 社が未入金（アボット・ジャパンに本年度中の入金を依頼する）
- 3) 会員動向 2 月分 (中川 資料 03-13)  
会員数 1354 名（新入会員 0 名・転出 4 名）
- 4) 総務担当者会議関係 (藤岡 資料 03-14)  
・事業報告セミナー、平成 29 年度定期総会、次年度事業、HP リニューアル、  
検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の期限について  
・事業報告セミナーの事前申込者は 166 名  
・平成 29 年度定期総会は、6 月 11 日に川崎医療短期大学 体育館で開催する  
・教育講演は DMAT について和歌山県元会長の玉置達紀氏と福島明德理事に依頼する

- ・地域の活性化に向け、県内を区分けし情報の伝達を図る  
区分けは、決まり次第報告する
- ・新人研修会を7月8日に開催予定
- ・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の期限を認識していない技師がいた為、HPにて啓発を行った

5) その他 (中川 資料 03-15)

- ・行事予定の共有化に向けて  
Google カレンダーを利用しセミナー等のブッキングを予防する  
講師との日程が決まった時点で、岡臨技 HP の STAFF ROOM より Google カレンダーにログインし行事名を(仮)付きで入力する
- ・講師謝金について  
受取った時点で企画書を持って講師謝金を確認しケースに入れる

2. 学術担当関係

1) 学術担当者会議

2月開催なし

2) 学術・生涯部関係

- ・一般検査部門会議議事録 (藤岡 資料 03-21)  
2月18日一般検査講演会、29年度計画について
- ・29年度 初心者研修会を6月3日に開催する  
会場を川崎医療短期大学 体育館から200番大講義室に変更する
- ・29年度 スキルアップ研修会は12月17日に開催予定

3) 精度管理部関係

特記事項無し

4) 出版部関係

特記事項無し

5) その他

- ・第47回岡山県医学検査学会について (植本)  
実務委員は7時45分に集合

3. 渉外担当関係

1) 渉外部担当会議 (小林 資料 03-21)

- ・平成29年度事業計画、「活かしてください臨床検査」の更新について  
検査展・健康展は11月4日に岡山コンベンションセンターのレセプションホールで開催する (木村)

2) 企画調査部関係

特記事項無し

3) 企画青年部関係

特記事項無し

4) その他

特記事項無し

## ・協議事項

### 1. 総務担当関係

- 1) 平成 29 年度定期総会企画予算書 (藤岡 資料 03-51 ~ 53)  
承認された  
一部訂正：講演会等講師派遣依頼書 企画分野の昨年度の内容を削除  
：会報掲載依頼書 講演会のポイントを修正
- 2) 第 69 回「保険文化賞」候補者の推薦について (藤岡 資料 03-54)  
今年度は候補者無し、今後を期待する
- 3) 第 5 回自動分析コツセミナー in 岡山への後援について (藤岡 資料 03-55 ~ 56)  
承認された
- 4) OT3 (2017.02.04 開催) 企画決算書について (木村 資料 03-57)  
承認された  
臨床検査技師会からは 16 名の参加であった
- 5) HP 更新について (櫻井 資料 03-58 ~ 61)
  - ・さくらインターネットサーバー上でクロスチェックが正常に作動することが確認できた
  - ・HP 委員会等の要望をもとに再見積もりを行ったところ、1,572,633 円となった再見積もり額で契約を行うことが全会一致で承認された
- 6) その他
  - ・医中誌「著作権抄録利用許諾」のお願いについて (藤岡 資料 03-62)  
承認された
  - ・「岡山市くらしの便利帳」広告掲載依頼について (藤岡 資料 03-63)  
検査展等の広報には利用できないため、見送られた

### 2. 学術担当関係

#### 1) 企画予算書

- ・一般検査部門講演会 (6 月 3 日：川崎医療短期大学 200 番大講義室)  
～ 初心者・日当者のための尿検査講座～ (藤岡 資料 03-71 ~ 73)  
会場は川崎医療短期大学 体育館から 200 番大講義室に変更  
承認された
- ・真庭地区講演会 (6 月 24 日：金田病院 研修ホール)  
～ 甲状腺ホルモンについて～ (久保田 資料 03-74 ~ 76)  
講師については富士レビオ株式会社に依頼しているが現時点では未定  
承認された

#### 2) 企画決算書

- ・糖尿病療養費指導講演 (1 月 15 日：川崎現代医学博物館) (植本 資料 03-77)  
手続きが遅れたことと協賛金を頂いているため日臨技からの補助金は不採用となった  
企画書を作成する場合には費用等に注意する  
今回は実務委員が多かったため次回からは減員する  
承認された

・生理機能部門講演会(1月22日:岡山大学病院) (植本 資料03-78)  
承認された

・臨床化学部門講演会(2月4日:倉敷芸術科学大学) (藤本 資料03-79)  
参加人数31名で1名は非会員  
県内技師が10名、県外技師が20名であった  
承認された

・玉野地区講演会(2月15日:玉野市総合保険福祉センター) (高津 資料03-80)  
当初の募集人数は40名であったが、募集多数のため会場を変更した  
県内技師の旅費は運営費等詳細に記載する  
承認された

・一般検査部門講演会(2月18日:川崎医療短期大学) (藤岡 資料03-81)  
富士レビオ株式会社と岡山大学のISOのセミナーと同日だったため参加人数が  
少なかった  
承認された

### 3) その他

・2月26日に日臨技中四国支部病理・遺伝子染色体部門合同研修会が開催され65名  
が参加された (藤田)

## 3. 渉外担当関係

### 1) 企画予算書

・第53回ソフトボール大会 (木村 当日資料)  
承認された

### 2) 企画決算書

特記事項無し

### 3) その他

・検査展の備品としてパルスオキシメータ(26,000円)の購入について (佐藤)  
検査展・健康展の予算までに検討する

・ソフトボール大会の備品としてテントの購入について (木村)  
本年度中に購入する

・スタッフジャンパーの購入について (岡本)  
本年度中に購入する

## 4. その他

1) 3ヶ月予定表 (岡本 資料03-91)

## ・各種行事への役員派遣

1. 川崎医療短期大学卒業式(3月15日)岡本
2. 倉敷芸術科学大学卒業式(3月23日)岡本
3. 倉敷芸術科学大学入学式(4月5日)岡本

## ・常任委員会等開催



会長	担当副会長	担当部長	会計部長	資料04-02
岡本	木	藤岡	福島	

# 行動報告書

(社)岡山県臨床検査技師会長 様

請求金額

¥ 0

所属: 岡山済生会総合病院

会員番号: 330870

報告者氏名: 木村 泰治

印

報告日: 平成29年 4 月 3 日

行動内容	平成27年度岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会 胃がん・大腸がん部会				
行動場所	所在地	〒 700-0907 TEL: 086-232-0511		岡山市北区下石井2-6-41	
	施設名	ピュアリティまきび			
	行動日時	自 2 月 20 日 金 曜日	午前・午後	18 時 00 分	日帰り
		}			宿泊
	至 2 月 20 日 金 曜日	午前・午後	19 時 20 分	泊日	

報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記協議会に出席しました。</li> <li>・ 参加者は11名(委員7名、オブザーバー1名、事務局3名)でした。</li> <li>・ 内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山県の胃がん・大腸がん及び胃がん・大腸がん検診の現状について</li> <li>岡山県の胃がん・大腸がんの現状報告があった。</li> <li>40～49歳における胃がん死亡数が全国4.5に対し7.6(人口10万人あたり)と非常に高い。</li> <li>胃がん検診は、従来のX線検診に加え内視鏡検診も加えられたが、人的問題などにより、岡山市、倉敷市など一部の市町村に留まっている。</li> <li>平成28年度胃がん・大腸がん検診における精度管理調査について</li> <li>岡山県の胃がん・大腸がんにおける精度管理調査の現状報告があった。</li> <li>市町村、検診機関のチェックリスト遵守状況を調査し、不良項目に対し改善指導を行っている。</li> <li>精検受診率70%未満の市町村に対し改善指導を行っている。</li> <li>胃内視鏡検査実施に係る体制整備について</li> <li>胃内視鏡検診運営委員会、読影委員会の設置、ダブルチェック方法(精度管理)、検査医療機関の確保</li> <li>県内相互乗り入れ(他の市町村での胃内視鏡検査の実施)、マンパワー不足など多くの課題がある。</li> <li>「岡山県市町村がん検診に係る様式及び検診機関等の基準」の改正について</li> <li>上記改正の説明があった。文言などの修正であり、大きな改正はなかった。</li> </ul> </li> </ul>
------	--

	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属
1	330870	木村 泰治	済生会						
2									
3									
4									
5									

備考	この用紙は様式07_01_02用紙で請求した行動の報告書です。代表者(又は個人)が提出して下さい。必要事項を記入し、資料とともに事務所まで送付して下さい。		駐車料金・食卓料など別途加請求には領収書が必要です	
	請求金額	0 円		
	支払合計	0 円		

会長	担当副会長	担当部長	会計部長	資料04-03
岡本	黒川	藤岡	福島	

# 行動報告書

(社)岡山県臨床検査技師会長 様

請求金額

¥ 主催者負担のため経費不要

所属: 川崎医療短期大学

会員番号: 330592

報告者氏名: 黒川 幸徳

黒川

報告日: 2017 年 4 月 3 日

行動内容	岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会									
行動場所	所在地	〒 700-0907 TEL: 086-232-0511			岡山県岡山市北区下石井2-6-41					
	施設名	ピュアリティーまきび								
行動日時	自	3	月	14	日	月曜日	午前・午後	6 時 00 分	日帰り	
	至	3	月	14	日	月曜日	午前・午後	7 時 30 分	宿泊	
泊日	泊日									
報告事項	<p>行動内容を下記のとおり報告します。</p> <p>平成28年度岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会が平成29年3月14日(火)18:00から岡山市内のピュアリティーまきびで開催された。</p> <p>協議内容は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山県の肺がん及び肺がん検診の現状について</li> <li>平成28年度肺がん検診における精度管理調査について</li> <li>肺がん精密検診機関の更新について</li> <li>「岡山県市町村がん検診に係る様式及び検診機関等の基準」の改正について</li> <li>「岡山県肺がん精密検診機関基準及び届出要領」の改正について</li> <li>その他</li> </ul> <p>上記議題について資料に基づき事務局から説明・報告があり、承認された。</p>									
	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属	
1	330592	黒川幸徳	川短							
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
備考	この用紙は様式07_01_02用紙で請求した行動の報告書です。代表者(又は個人)が提出して下さい。必要事項を記入し、資料ともに事務所まで送付して下さい。						駐車料金・食卓料などの追加請求には領収書が必要です			
	請求金額						主催者負担のため経費不要 円			
	支払合計						主催者負担のため経費不要 円			

会 長	担 当 副会長	担 当 部 長	会 計 部 長	資料04-04
岡本	黒川	藤岡	福島	

# 行 動 報 告 書

(社)岡山県臨床検査技師会長 様

請求金額

¥ 2,100

所属: 松田病院

会員番号: 334729

報告者氏名: 岡本 由美

岡本

報告日: H29 年 3 月 15 日

行動内容	平成28年度 川崎医療短期大学卒業式				
行動場所	所在地	〒 TEL: 倉敷市松島			
	施設名	岡山県倉敷市松島 川崎医療短期大学体育館			
行動日時	自	3 月 15 日 水曜日	午前・午後	9 時 分	日帰り
	至	3 月 15 日 水曜日	午前・午後	12 時 分	泊日
報告事項	平成28年度 卒業証書・学位記授与式に来賓として参列しました ・ 看護科・臨床検査技師科59名・放射線技術科・医療介護福祉科・医療保育科の総勢 ・ 332名が卒業されました。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				

	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属
1	334729	岡本 由美	松田						
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

備考	この用紙は様式07_01_02用紙で請求した行動の報告書です。代表者(又は個人)が提出して下さい。必要事項を記入し、資料とともに事務所まで送付して下さい。			駐車料金・食卓料などの追加請求には領収書が必要です		
	請求金額			2,100	円	
	支払合計			2,100	円	

会長	担当副会長	担当部長	会計部長	資料04-05
岡本	黒川	藤岡	福島	

# 行動報告書

(社)岡山県臨床検査技師会長 様

請求金額

¥ 2,400

所属: 医療法人 天和会 松田病院

会員番号: 334729

報告者氏名: 岡本 由美

岡本

報告日: H29 年 3 月 23 日

行動内容	倉敷芸術科学大学 学位授与式											
行動場所	所在地	〒			TEL: 086 - 440 - 1111							
		倉敷市連島町西之浦2640番地										
	施設名	倉敷芸術科学大学										
行動日時	自	3	月	23	日	木曜日	午前・午後	9	時	分	日帰り	
	}											
	至	3	月	23	日	木曜日	午前・午後	1	時	分	泊日	
報告事項	<p>H28年度 倉敷芸術科学大学 学位記授与式に来賓として出席しました。          国際色あふれる華やかな4年制大学らしい卒業式でした。          式次第の「卒業生感恩の儀」卒業生の掛け声の下、卒業生一同が周囲の台上の方、来賓、父兄教師に向かって4度90度の角度を変えてご挨拶をされる儀式になごみました。</p> <p>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</p>											
	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名	所属			
	1	334729	岡本 由美	松田								
	2											
	3											
	4											
	5											
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
備考	この用紙は様式07_01_02用紙で請求した行動の報告書です。代表者(又は個人)が提出して下さい。必要事項を記入し、資料とともに事務所まで送付して下さい。						駐車料金・食卓料などの追加請求には領収書が必要です					
							請求金額	2,400			円	
							支払合計	2,400			円	

- 3月 1日受信：友野印刷(株)より「請求書（会報3月号） 11,880円」  
受信：神奈川県技より「会報 433号」
- 6日受信：NTTより「次回口座振替のお知らせ（2月分）済生会 5,742円」  
受信：ヤマト運輸(株)より「請求書（会報2月号・会誌等送料） 72,661円」  
受信：東京都技より「会誌 Vol.45 No.1」  
受信：日本衛生検査所協会より「医療フォーラム21『慢性腎臓胃病（CKD）と検査』冊子」  
受信：日臨技より「会費の送金について」  
「平成28年度『生涯教育推進研修会助成金』の送金について（通知）」  
「e-ラーニング説明会開催について（ご依頼）」  
「『りんしょう犬さん（起き上がりこぼし）』の配布希望について（調査）」  
「平成28年度『新入会員研修会助成金』の送金について（通知）」
- 9日受信：中国電力より「請求書（3月分電気代）12,205円」  
受信：榎本泰輝税理士事務所より「請求書（税務会計顧問料 2月）32,400円」  
受信：(株)青山キャピタルより「請求書（タクシー代）19,810円」  
受信：愛知県技より「平成28年度愛知県臨床検査精度管理調査総括集」「会報 3月号」  
受信：大塚薬報編集部より「大塚薬報 No.723」
- 13日受信：川崎医療短期大学より「自己点検・評価報告書」  
受信：岡山県病院協会より「病院便り3月号」  
受信：日臨技より「日臨技より「医学検査 Vol.66 No.2」「JAMT magazine 3月号」
- 16日受信：NTTより「次回口座振替のお知らせ（3月分）事務所（TEL）1,734円」  
「次回口座振替のお知らせ（3月分）事務所（FAX）2,594円」
- 21日受信：石川県技より「会誌 Vol.45 No.1」  
受信：医学中央雑誌刊行会より「医学中央雑誌 収載誌目録」  
受信：第66回日本医学検査学会事務局より  
「公開水戸塾のご案内とワークショップ参加者推薦について（お願い）」
- 23日受信：スペースアップ新保管理組合より「請求書 管理費（4月分）33,000円」「月間管理報告2月」
- 28日受信：NTTコミュニケ-ションズ(株)より「次回口座振替のお知らせ 済生会（OCN）2,106円」  
「次回口座振替のお知らせ 事務所（OCN）4,104円」  
受信：日臨技より「会費の送金について」  
「平成28年度『生涯教育推進研修会助成金』の送金について（通知）」  
「平成28年度『検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会』助成金の送金について」  
「『日臨技生涯教育研修制度』平成28年度事務処理について（依頼）」
- 30日受信：栃木県技より「会誌 Vol.12 No.2」  
受信：高知県技より「会誌 Vol.46 No.3」  
受信：大阪府技より「会報 第339号」

平成 28 年度 技発文書および公印使用文書一覧表

No	日時	表題	発送先
429	3/7	第 5 回自動分析コツセミナーの後援について（回答）	㈱日立ハイテクノロジーズ
-	3/10	講演のお礼	山下 徹（岡山大学病院）
-	3/10	講演のお礼	高村 好実（市立宇和島病院）
430	3/15	平成 29 年度会費納入のお願い	県会員
431	3/23	平成 29 年度法人賛助会員のご案内と会費納入のお願い	バイオ・ラッド・ラボラトリーズ㈱

## 収支計算書

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日まで

3月

(単位：円)

一般会計

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 受取入金	162,000	120,000	42,000	
正会員入会金収益	150,000	120,000	30,000	2,000円× 0名 累計 60名
個人賛助会員入会金収益	2,000	0	2,000	2,000円× 0名 累計 0名
法人賛助会員入会金収益	10,000	0	10,000	10,000円× 0社 累計 0社
(2) 受取会費	7,755,000	8,015,000	260,000	
正会員会費収益	6,750,000	6,865,000	115,000	5,000円× 0名 累計 1,373名
個人賛助会員会費収益	5,000	10,000	5,000	5,000円× 0名 累計 2名
法人賛助会員会費収益	1,000,000	1,140,000	140,000	20,000円× 0社 累計 57社
(3) 事業収益	3,000,000	3,065,500	65,500	
講習会事業収益	1,489,000	1,710,500	221,500	
講習会参加費収益	1,474,000	1,680,500	206,500	県学会(3/5)等 488,500円
講習会協賛金収益	15,000	30,000	15,000	糖尿病講演会(1/15) 10,000円
生涯教育研修事業収益	1,000	0	1,000	
展示広告事業収益	810,000	705,000	105,000	
広告費収益	490,000	385,000	105,000	2社 累計 11社
学会展示・セミナー費収益	320,000	320,000	0	2社 累計 8社
精度管理事業収益	700,000	650,000	50,000	0施設 累計 130施設
(4) 受取補助金等	1,040,000	1,479,600	439,600	
地方公共団体補助金収益	0	0	0	
日臨技助成金収益	1,040,000	1,479,600	439,600	生涯教育推進研修会助成金等 408,000円
(5) 雑収益	43,000	365,593	322,593	
受取利息収益	10,000	6,593	3,407	定期預金利息 1,195円
その他雑収益	33,000	359,000	326,000	クロスチェック集計費等 65,200円
経常収益計	12,000,000	13,045,693	1,045,693	
2 経常費用				
(1) 事業費	8,372,000	5,804,024	2,567,976	
福利厚生費	861,000	342,149	518,851	
旅費交通費	786,000	485,818	300,182	
県内旅費交通費	606,000	485,818	120,182	検査展実務(10/22)等 132,120円
県外旅費交通費	180,000	0	180,000	
通信運搬費	25,000	0	25,000	
電話料	5,000	0	5,000	
切手類等	20,000	0	20,000	

収支計算書

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
接待交際費	30,000	6,500	23,500	
総会会場費	50,000	266,000	216,000	事業報告セミナー弁当代
学会負担費	55,000	28,000	27,000	
生涯教育研修事業費	1,715,000	1,464,701	250,299	
講師謝金	1,185,000	744,612	440,388	県学会(3/5)
研修会場費	105,000	78,158	26,842	一般検査講演会(2/18)等
研修会運営費	425,000	641,931	216,931	試薬代(化学実技研修会)
精度管理開催費	765,000	489,220	275,780	
精度管理費	605,000	489,220	115,780	
精度管理研究費	150,000	0	150,000	
事業協力費	10,000	0	10,000	
印刷製本費	2,050,000	1,795,500	254,500	会報3月号印刷代
臨床検査展等会場費	1,085,000	633,240	451,760	
表彰費	250,000	270,000	20,000	
雑費	700,000	22,896	677,104	
(2) 管理費	8,128,000	6,423,963	1,704,037	
給料手当	1,300,000	1,231,400	68,600	給与等
会議費	859,000	692,160	166,840	
理事会費	300,000	365,310	65,310	28-10月理事会(10/6)等
総務部委員会議費	150,000	157,860	7,860	28-9月総務担当者会議(9/14)等
学術部委員会議費	214,000	115,330	98,670	血液検査部門会議(10/17)
渉外部委員会議費	140,000	53,660	86,340	
選挙管理委員会議費	5,000	0	5,000	
諮問委員会議費	50,000	0	50,000	
旅費交通費	300,000	333,104	33,104	
県内旅費交通費	100,000	72,784	27,216	ガソリン代(2月)等
県外旅費交通費	200,000	260,320	60,320	
通信運搬費	950,000	908,381	41,619	
電話料	350,000	316,996	33,004	事務所等
切手類等	600,000	591,385	8,615	会報・会誌送付
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	1,200,000	1,472,843	272,843	オルフイヌリース代等
修繕費	50,000	0	50,000	
印刷製本費	200,000	178,632	21,368	
光熱水料費	80,000	84,286	4,286	電気代

収支計算書

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
資料購入費	5,000	0	5,000	
事務所維持管理費	700,000	663,072	36,928	事務所管理費等 35,484円
災害保険料	100,000	34,250	65,750	
諸謝金	400,000	388,800	11,200	税務会計顧問料 32,400円
租税公課	170,000	151,100	18,900	
関係諸団体費	100,000	84,000	16,000	いばらぎ隆太「飛翔の集い」会費 10,000円
慶弔費	30,000	0	30,000	
減価償却費	400,000	0	400,000	
雑費	1,284,000	201,935	1,082,065	ジャンパー作製代等 97,052円
経常費用計	16,500,000	12,227,987	4,272,013	
当期経常増減額	△ 4,500,000	817,706	△ 5,317,706	
II 経常外増減額の部				
1 経常外収益				
(1) 基本財産取崩収入	0	0	0	
(2) 特定資産取崩収入	250,000	0	250,000	
学術奨励引当資産取崩収入	250,000	0	250,000	
(3) 固定資産売却収入	0	0	0	
土地売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	250,000	0	250,000	
2 経常外費用				
(1) 基本財産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産支出	400,000	328,786	71,214	
減価償却引当資産支出	400,000	328,786	71,214	
(3) 固定資産取得支出	0	0	0	
経常外費用計	400,000	328,786	71,214	
当期経常外増減額	△ 150,000	△ 328,786	178,786	
3 当期一般正味財産増減額				

会員状況(3月)

2016.2.25 ~ 2017.3.31

会員数	1336(1354)
日臨技会員	1328(1346)
県のみ会員	3 (6)
個人賛助会員	1 (2)
法人賛助会員	60 (60)

( )内は前月会員数

新(再/転)入会 0名

退会・転出 22名

714705	浜瀬 朋子	9330082	(株)岡山医学検査センター	退会
330529	大倉 美樹子	9330065	倉敷中央病院	"
706690	山内 結里菜	9330025	岡山博愛会病院	"
335074	北村 奈央子	9330065	倉敷中央病院	"
335098	淵上 真希	9330071	倉敷成人病センター	"
334695	楨本 富子	9330024	心臓病センター榊原病院	"
330062	河口 宏美	9330297	おさふねクリニック	"
330056	伊藤 公子	9330083	笠岡市立市民病院	"
334553	森 厚子		自宅会員	"
712075	内藤 幹	9330174	倉敷リバーサイド病院	"
330397	牧田 典子	9330065	倉敷中央病院	"
880145	佐藤 和子	9340118	日本鋼管福山病院	"
660047	水川 節子	9330211	まび記念病院	"
880190	川西 敏夫		自宅会員	"
880191	牧田 卓一		自宅会員	"
704144	植田 みな美	9330024	心臓病センター榊原病院	転出
701357	木山 直子	9330062	川崎医科大学附属病院	"
712663	飛田 圭貴		自宅会員	"
708766	佐藤 友美	9330021	岡山市立市民病院	"
709894	岩城 紗弥子	930129	重井医学研究所附属病院	"
335137	小林 祐未子	9330214	岡村一心堂病院	"
711710	片山 尚美	9330277	(株)ファルコバイオシステムズ岡山研究所	"

## 平成 28 年度 第 3 回 HP 委員会 会議議事録

日 時：平成 29 年 3 月 30 日（木） 19 時 00 分～

会 場：岡臨技事務所

出席者：岡田 健、黒川 幸徳、木村 泰治、高津 昌吾、金子 賢太郎、  
上山 海斗、東影 明人、櫻井 博重

欠 席：岡本 由美、河口 勝憲、藤岡 克徳、中川 裕美、福島 明徳、中西 智宏、  
梶谷 博則

陪 席：無し

書 記：東影 明人 櫻井 博重

出席業者：友野印刷（株） 営業課：西中、Web-DB ソリューション係：有木

## 審議事項

## 1. リニューアル HP 作成における、友野印刷（株）さんとの調整

以下、提出資料内容を基に審議を進行させた

- ① 現サイトのデータを確認サイトに移設しているので、内容について確認

<http://clients.tomono.jp/okaringi/root/>

ID:ringi PASS:ringi

- ② クロスチェックの動作に必要なフォルダ、ファイルについて確認

前回、さくらレンタルサーバーにてクロスチェックの動作確認済み

HP リニューアルにおいて必要なファイルを移設する

/public\_html/aaa と /public\_html/cgi-bin

但し動作上、“過去データ” 閲覧時には別の画面よりの閲覧となるので

PW 入力にて閲覧する（データ入力と閲覧の為の 2 つの画面となる）

- ③ お知らせイベント予定を投稿したら、google カレンダーへも自動で反映される  
現状では無理の様である。

Google カレンダーの表示文字数が限られているので、

行事（講演会等のお知らせ等）を入力する場合、各部署での詳細な入力と google  
カレンダーに簡単に入力して管理する方が良い

- ④ ソフトボール大会などの写真を共有（保存）

WordPress にて File Manager を使用するか？（フォルダの構造上不安：システム  
フォルダが同じ階層にある）

Yahoo や google など無料の Dropbox ものが有るが、将来の存続については不透明  
で有る為、友野印刷さんの方で良い方法を検討する。

⑤ Google アカウントの用意について

一般会員の方が行事予定を確認する為の、google カレンダー用

⑥ 更新システムに設定する管理ユーザーについて

サイト内管理の為の管理者権限や担当者及び役割分担の決定が必要

例えば、学術・渉外・総務部からの講演会や技師会のお知らせなどの入力者、  
又その記事の確認や公開権限やサイト全体の管理者の決定など

⑦ 現在使用している“ASJ サーバ”の契約・仕様内容の確認

現在 ASJ サーバでの使用メールの確認⇒移行時期に ASJ とさくらサーバでの  
混乱を避ける対応の為、仕様内容を確認

okaringi.or.jp のメールアドレスを移行（使用していないアドレスは削除）

2. リニューアル HP 完成までのタイムスケジュール作成について

友野印刷さんの提出資料を基に検討した結果、一応下記の予定となった（変更有り）

3/30：第 3 回 HP 委員会 打ち合わせ・仕様確認

4/07：新サーバの契約（友野印刷さんが代行手続き）

旧サーバの解約手続き

ドメインの移設手配

4/14：仕様の最終決定

移設内容の確認

修正内容の連絡（確認サイトで検討する）

4/17：修正指示を反映して、新サーバへ移設

更新システムの構築開始（さくらサーバへ）

5/10：更新システムも含む動作検証

5/24：修正内容の連絡

6/08：サイトリニューアルの公開（月末のクロスチェック入力・集計の混乱を避ける  
為、6/1⇒6/8 とした）

3. 質疑・応答等

1. リニューアル HP 作成における、友野印刷（株）さんとの調整時に参加者は積極的に  
質疑を行った。

4. 今後の検討課題について（特に下記 3 項目）

① 一般の方が行事確認を行う為の google カレンダー用のアカウントを作成

② 行事（講演会等）などのお知らせを入力する場合、詳細事項と簡潔な入力の 2 通  
り

③ 管理ユーザーの決定（行事投稿者・確認者・サイト管理者など）

以上

所属機関長殿

## 平成 29 年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を 2 本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成 29 年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。本年度は本財団創立 25 周年の記念の年であり、創立以来続けておりますこの研究助成事業も記念すべき節目の第 25 回の贈呈となります。また、対象領域「一般・生理学」を新設いたしました。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、平成 29 年 5 月 31 日(水、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

平成 29 年 3 月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 河合 忠



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は  
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。  
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514  
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: [info@kmf.or.jp](mailto:info@kmf.or.jp)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団  
平成 29 年度 第 25 回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として 50 歳以下）を主眼としています。（財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立私立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ① 臨床化学              | ② 分子生物学（医学）  |
| ③ 臨床微生物学            | ④ 臨床免疫学      |
| ⑤ 検査血液学             | ⑥ 人体病理学      |
| ⑦ 疫 学 <sup>注1</sup> | ⑧ 一般・生理学（新設） |

の 8 つの領域とします。

注 1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

4. 募集期間

平成 29 年 3 月 10 日（木）から平成 29 年 5 月 31 日（火）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は 1 件 100 万円を限度とし、15 件以上とします。

研究期間は、原則として 1 年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写 2 部」の合計 3 部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項から Word 2003 ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が 8 つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

## 8. 研究助成金の贈呈

平成 29 年 10 月 27 日（金）の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

## 9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究結果については 2,000 字以内の報告書の提出
- ② 会計報告の提出
- ③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
- ④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

## 10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内  
公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)

URL <http://www.kmf.or.jp/>

- 所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。
- 応募の書類は一切返却いたしません。

## 第 24 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧（平成 28 年度）

参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
いけだ みえ 池田 美恵	順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座 博士研究員 生命科学博士	熱帯熱マラリア原虫アルテミシニン耐性簡易迅速定量法の開発	臨床微生物学
いしかわ たけし 石川 剛	京都府立医科大学消化器 内科学 講師 医学博士	食道がん患者における血中可溶性免疫調節因子の治療効果予測マーカーとしての意義	臨床免疫学
いのした なおこ 井下 尚子	冲中記念成人病研究所 研究員（兼務） 虎の門病院病理診断科 医長 医学博士	尿路上皮癌における Lynch 症候群の頻度とその臨床病理学的特徴の検討～150 例の尿路上皮癌組織標本の <i>microsatellite instability</i> (MSI) 検査を含めた後向き検討と、尿検体を用いた MSI 検査への前向き検討と臨床応用	人体病理学
おおくぼ のりゆき 大久保 礼由	東北大学病院 診療技術部検査部門 臨床検査技師 医学博士	フローサイトメトリーを用いた B 前駆細胞リンパ芽球性白血病/リンパ腫と <i>hematogones</i> の鑑別法の確立	検査血液学
かわの みき 河野 弥季	国際医療福祉大学成田キャンパス保健医療学部 医学検査学科 助教	エタノールアミンリン酸の高感度測定法開発とうつ病のスクリーニング検査への応用	臨床化学
くらの まこと 蔵野 信	東京大学医学部附属病院 検査部 助教 医学博士	ステロール一斉測定法の臨床検査医学への導入	臨床化学
こまつ まさる 小松 方	天理医療大学医療学部 臨床検査学科 准教授 博士(保健学)	アフィニティークロマトグラフィーを用いた臨床分離株からの IMP-1 型カルバペネマーゼの精製法およびマトリックス支援レーザー脱離イオン化法を用いた IMP-1 の迅速同定法の開発	臨床微生物学
すえひろ ゆたか 末廣 寛	山口大学大学院医学系研究 科臨床検査・腫瘍学講座 准教授 医学博士	便潜血検査と組み合わせることにより大腸腫瘍スクリーニング精度向上を実現する便 DNA 検査法の開発	分子生物学
にしむら ともやす 西村 知泰	慶應義塾大学 保健管理センター 専任講師 医学博士	血清マイクロ RNA 定量による肺 <i>Mycobacterium avium</i> complex 症の疾患活動性評価	臨床微生物学
ひねのや あつし 日根野谷 淳	大阪府立大学大学院生命環 境科学研究科獣医学専攻 助教 獣医学博士	新興病原体 <i>Escherichia albertii</i> の分子疫学と簡便迅速検査法開発への展開	臨床微生物学
まつもと ともこ 松本 智子	奈良県立医科大学血友病 治療・病態解析学講座 特任助教 医学博士	凝固波形解析を用いた包括的凝固線溶ダイナミクス評価法の創出	検査血液学
やすい よしひろ 安井 善宏	愛知県衛生研究所 生物学部ウイルス研究室 室長 薬学博士	インフルエンザウイルス流行株のノイラミニダーゼ阻害剤耐性変異検出法の開発と愛知県内流行株における解析	臨床微生物学
よしざわ あきひこ 吉澤 明彦	京都大学医学部附属病院 病理診断科 講師 医学博士	ホルマリン固定パラフィン包埋材料 (FFPE 材料) を用いた RNA <i>in situ</i> hybridization 法による肺腺癌の稀少遺伝子異常の検出	分子生物学
わたなべ けんいち 渡邊 謙一	帯広畜産大学グローバルアグロ メディシン研究センター 特任助教 獣医学博士	肝機能障害患者における E 型肝炎ウイルスの分子疫学調査とその診断的意義に関する研究	疫学

総申請者 238 名  
研究助成金総額 1,340 万円(内訳 100 万円:8 名、90 万円:6 名)

所属機関長殿

## 創立25周年記念特別研究助成金のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成29年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。本年度は本財団創立25周年の記念の年であり、創立以来続けておりますこの研究助成事業も記念すべき節目の第25回の贈呈となります。つきましてはこれを記念いたしまして「創立25周年記念特別研究助成金」を設けました。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

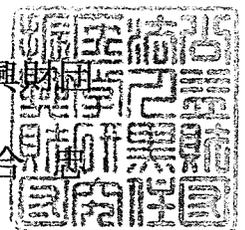
ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、平成29年5月31日(水、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

平成29年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 河合 誠



公益財団法人 黒住医学研究振興財団  
創立25周年記念特別研究助成金 募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象を主眼としています。

2. 応募資格

医学関連の学会、研究会、研究機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする団体とします。

ただし、営利事業を主としている団体は除きます。

3. 対象領域

臨床検査、微生物検査の標準化

4. 募集期間

平成29年3月10日（金）から平成29年5月31日（水）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は総額1,000万円を限度とし、2件以上とします。

研究期間は、原則として1年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写2部」の合計3部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項から Word 2003 ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

平成29年10月27日（金）の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究結果については 2,000 字以内の報告書の提出
- ② 会計報告の提出
- ③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
- ④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

#### 10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内  
公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

T E L 03-5846-3504

F A X 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(研究助成金申請用紙とは別になりますのでご注意ください。)

U R L <http://www.kmf.or.jp/>

- 団体代表者は団体の理事長、学会長、大学長、研究所長及びそれに相当する職域の長であること。
- 応募の書類は一切返却いたしません。

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	福島	黒川	岡本
	藤岡	藤岡	福島	黒川	岡本		藤岡	藤岡	福島	黒川	岡本

### 講演会等企画

予算書 提出日: 2016/10/04

決算書 提出日: 2017/03/10

企 画 分 野	総合管理部門 ( )		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 藤岡 克徳			
テ - マ ・ 内 容	平成28年度検査説明・相談の出来る臨床検査技師養成講習会		
日 時	平成29年2月11日(土) 9時00分 ~ 17時30分		
	平成29年2月12日(日) 9時00分 ~ 16時00分		
会 場	岡山旭東病院 パッチ・アダムス ホール TEL:		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 基礎 - 30	募集人員 : 50 名	受講料 : 10,000 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	330265	高津 昌吾	技師長
	330673	藤岡 克徳	課長
共 催	(施設名) 玉野三井病院 岡山旭東病院		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 52 人 (うち講師・実務委員 6 人)		
参加費	500,000	460,000	40,000		最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)		
参加協賛収入	0	0	0		【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)		
雑収入	200,000	200,000	0	日臨技助成金		円	円
	50,000	44,000	6,000	日臨技助成金		円	円
収入小計	750,000	704,000	46,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 4 名 (予算時講師人数)		
講師料	30,000	30,000	0		氏名	猶本 良夫	会員番号
旅費					所属	川崎医科大学附属川崎病院	
講師支払額	30,000	30,000	0		肩書き	院長代理	
講師謝金	33,411	33,411	0		備考		
講師料	30,000	30,000	0		氏名	前川 珠木	会員番号
旅費					所属	岡山大学病院	
講師支払額	30,000	30,000	0		肩書き	看護部長	
講師謝金	33,411	33,411	0		備考		
講師料	10,000	10,000	0		氏名	荒谷千代美	会員番号 340254
旅費	12,000	12,000	0		所属	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	
講師支払額	22,000	22,000	0		肩書き	検査部輸血課主任	
講師謝金	24,501	24,501	0		備考		
講師料	60,000	60,000	0		氏名	古垣 みゆき	会員番号
旅費					所属	人材開発マネジメント株式会社	
講師支払額	60,000	60,000	0		肩書き	常務取締役	
講師謝金	64,800	64,800	0		備考		
会場費		0	0		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)		
旅費日当		106,970			横地副会長: 交通費35,000円、宿泊費12,500円		
通信費	30,000	16,482	13,518	切手代	油野先生: 宿泊費9,780円、講師交通費(タクシー代)19,810円		
消耗品・雑費	50,000	43,992	6,008		実務委員: @1500円 x のべ10名 = 15,000円、交通費14,880円		
運営費	80,000	167,444	87,444		消耗品内訳: ネームプレート 5,287円		
雑費	342,368	210,020	132,348		修了証書 37,649円		
2日目講師料	171,509	171,509			講師用水 670円		
支出小計	750,000	705,096	44,904		接待用お茶 386円		
収支差額	0	1,096			【雑費他詳細】		
					テキスト印刷・製本 70部: 199,800円		
					事前会議費用(2回分): 10,220円		

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	福島	黒川	岡本
	藤岡	藤岡	福島	黒川	岡本		藤岡	藤岡	福島	黒川	岡本

### 講演会等企画

予算書 提出日: 2016/10/04

決算書 提出日: 2017/03/10

企 画 分 野	総合管理部門 ( )		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 藤岡 克徳			
テ - マ ・ 内 容	平成28年度検査説明・相談の出来る臨床検査技師養成講習会		
日 時	平成29年2月11日(土) 9時00分 ~ 17時30分		
	平成29年2月12日(日) 9時00分 ~ 16時00分		
会 場	岡山旭東病院 パッチ・アダムス ホール TEL:		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 基礎 - 30	募集人員 : 50 名	受講料 : 10,000 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	330979	中川 裕美	主任
	330673	藤岡 克徳	課長
共 催	施設名: 倉敷リバーサイド病院 岡山旭東病院		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 52 人 (うち講師・実務委員 6 人)		
参加費	500,000	460,000	40,000		最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)		
参加協賛収入	0	0	0		【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)		
雑収入	200,000	200,000	0	日臨技助成金		円	円
	50,000	44,000	6,000	日臨技助成金		円	円
収入小計	750,000	704,000	46,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 4 名 (予算時講師人数)		
講師料	45,000	45,000	0		氏名	末盛 晋一郎	会員番号
旅費					所属	川崎医科大学 検査診断学	
講師支払額	45,000	45,000	0		肩書き	講師	
講師謝金	50,116	50,116	0		備考		
講師料	45,000	45,000	0		氏名	花山 宜久	会員番号
旅費					所属	岡山大学病院 総合診療内科	
講師支払額	45,000	45,000	0		肩書き	助教	
講師謝金	50,116	50,116	0		備考		
講師料	30,000	30,000	0		氏名	谷原 弘之	会員番号
旅費					所属	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科	
講師支払額	30,000	30,000	0		肩書き	教授	
講師謝金	33,411	33,411	0		備考		
講師料	10,000	10,000	0		氏名	油野 友二	会員番号 170306
旅費	24,000	24,000	0		所属	北陸大学	
講師支払額	34,000	34,000	0		肩書き	教授	
講師謝金	37,866	37,866	0		備考		
会場費		0	0		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)		
旅費日当		106,970			横地副会長: 交通費35,000円、宿泊費12,500円		
通信費	30,000	16,482	13,518	切手代	油野先生: 宿泊費9,780円、講師交通費(タクシー代)19,810円		
消耗品・雑費	50,000	43,992	6,008		実務委員: @1500円 x のべ10名 = 15,000円、交通費14,880円		
運営費	80,000	167,444	87,444		消耗品内訳: ネームプレート 5,287円		
雑費	342,368	210,020	132,348		修了証書 37,649円		
1日目講師料	156,123	156,123			講師用水 670円		
支出小計	750,000	705,096	44,904		接待用お茶 386円		
収支差額	0	1,096			【雑費他詳細】		
					テキスト印刷・製本 70部: 199,800円		
					事前会議費用(2回分): 10,220円		

平成 28 年度 日臨技、都道府県技師会主催  
「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」

資料04-65

技 師 会： 一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

報 告 者： 藤岡 克徳

開 催 日： 平成 29 年 2 月 11 日 (土) ~ 2 月 12 日 (日)

決 算 書

A (収 入)

科 目	金 額 (円)	内 訳 ・ 備 考
日臨技助成 固定額	200,000 円	同一年度内開催回数に係わらず 1 回のみ算定
日臨技助成 受講者あたり	44,000 円	受講者数 44 名@1,000 円
受 講 料 収 入	440,000 円	受講者数 44 名@10,000 円
合 計	684,000 円	

B (支 出)

科 目	金 額 (円)	内 訳 ・ 備 考
会 場 費	0 円	
設 備 ・ 備 品 費	0 円	
印 刷 費	199,800 円	テキスト印刷費 (印刷製本費用)
人 件 費 (講師謝金)	287,539 円	技師 90 分まで@11,137 円×2 名 源泉込 技師以外 90 分まで@33,411 円×3 名 源泉込 技師以外 90 分超過@50,116 円×2 名 源泉込 企業 1 @ 64,800 円×1 社 企業 2 @ 円× 社
旅 費 ・ 宿 泊 費	132,063 円	講師関係 117,183 円 税込 その他 14,880 円 税込
会 議 費	10,220 円	2 回開催 (2 月 7 日、2 月 10 日)
通 信 運 搬 費	16,482 円	切手代
消 耗 品 費	42,936 円	ネームプレート、受講終了証
広 報 費	0 円	
担 当 者 活 動 費	15,000 円	@1,500 円×のべ 10 名 (2 日間)
雑 費	1,056 円	講師水代、接待用お茶代
合 計	705,096 円	

A - B (収 支)

差し引き	21,096 円	理由と処理方法： 参加者が 44 名と例年より若干少なかった。 資料を印刷製本したため昨年より約 1 万円コストアップした。 赤字は岡臨技会計より補填 (前年度内部留保より補充)
------	----------	--

事業終了 2 週間以内に、日臨技事務局、都道府県技師会事務局へ提出

平成 28 年度 日臨技、都道府県技師会主催  
「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」

資料04-66

報告書

「事後アンケート」の集計結果も添付

報告者	藤岡 克徳	電話番号	086-276-7726 (内 6665)
開催運営	( 岡山県 ) 技師会		
技師会会長名	岡本 由美		
開催日時	平成 29 年 2 月 11 日 ( 土 ) 9 : 00 ~ 平成 29 年 2 月 12 日 ( 日 ) 16 : 30		
開催場所	一般財団法人操風会 岡山旭東病院 パッチ・アダムスホール 〒703-8265 岡山市中区倉田 567-1		
後援団体名	( 公社 ) 岡山県医師会、( 一社 ) 岡山県病院協会、( 公社 ) 岡山県看護協会		
受講者数	4 4 名		
実務委員	氏名・所属	岡本由美 ( 松田病院 ) 藤岡克徳 ( 岡山旭東病院 ) 高津昌吾 ( 玉野三井病院 ) 中川裕美 ( 倉敷リバーサイド病院 ) 森本信太郎 ( 岡山旭東病院 ) 寺阪賢人 ( 岡山旭東病院 ) 計 6 名 ( 1 日目 : 5 名、2 日目 : 5 名 )	
	概要	( 簡潔に ) 横地副会長の講義に始まり、実際に説明を実施している施設紹介や、ロールプレイを交えた座学ではない講義内容に受講者の評価も高いものであった。特に、2 日目の検査説明の実際では、検査説明を行い、ビデオ放映後、評価をしていただいたことで、受講者も実際の検査説明・相談業務へのイメージが湧いたように思われた。	
	成果	3 年間で 139 名の受講者となり、会員数 ( 1354 名 : 平成 29 年 2 月末現在 ) の約 1 割受講の目標は達成出来た。アンケートでも「できそう」が 22%、「わからない」が 78% に対し「できない」は 0% となっており、各施設なりの問題は若干存在するが説明業務に取り組むきっかけとなったと考えれば十分な成果があったと考える。	
	今後の課題	( 反省・改善・要望 ) 前回までと同様、ビデオ放映を一切しなかったことは良い評価につながったように思われた。ただし、昨年同様 R-CPC において評価が低めだったので、内容等に検討の余地があったことは残念であった。	

## アンケート集計報告

記入は網掛け部のみ

講習会開催日  
アンケート集計提出日  
ご提出都道府県名2017年2月11日  
2017年3月10日  
岡山県ご提出都道府県名  
ご提出担当者名2017年2月12日  
受講者数  
藤岡 克徳アンケート未提出者数  
アンケート回収数0  
44

1	講習を受けてどうでしたか？	よかった	よくなかった	どちらでもない	記入なし	合計	
2	受講料はどうか？	42 妥当		高い 7 安い	記入なし 2	合計 44	
3	ビデオ講義形式はどうか？	よかった	よくなかった	わからない	記入なし 44	合計 44	
4	ロールプレイ体験はどうか？	よかった	よくなかった	わからない	記入なし 1	合計 44	
5	講義内容別の評価を5段階でお願いします 取り組む意義 期待するもの 看護師の患者接遇 実践から学ぶ 患者心理 接遇の基本 検査説明の実際 R-CPC 検査説明模擬演習	18 16 11 24 22 29 29 13 25	22 21 19 18 16 14 15 23 15	4 7 13 2 6 1 1 7 2	ものたりなかった 1 1 2 6 1 1 1 1 2	よくなかった 記入なし 合計 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44	
6	講習会の感想、意見、要望	<p>とても参考になりました。多くの事例紹介、模擬体験などがあって、今後の参考にしたいと思います。</p> <p>とても有意義な講義だった。医師や他職種、他分野の方の意見を聞くことが出来てよかった。</p> <p>現在は、日常業務でいっぱいになっていますが、検査説明相談をはじめ、臨床検査技師が検査室外に出て、活動する意義がよくわかりました。</p> <p>ロールプレイは非常に良かった。生理検査についての接遇などがあれば、もっと良かったと感じた。</p> <p>2日間にわたり大変でした。しかし、多方面の話が聞けて全く飽きませんでした。</p> <p>勉強になることはたくさんあったが、いざ実践となるととても難しく感じました。</p> <p>チーム医療に限らず、相手を尊重して理解することの大切さを理解できた。患者や多職種との上手なコミュニケーション技術を学ぶことが出来た。</p>					合計 0
7	今後検査説明相談ができそうですか？	10 できそう	0 できない	32 まだわからない	2 記入なし	合計 44	
8	検査説明しうる分野(いくつでも可)	16 糖尿病外来	7 SMBG	23 健診全般	15 生理全般	検査の多い診療科の患者へ 11 検査の少ない診療科の患者へ 2 合計 74	
9	検査説明のための課題は？	<p>(自動計算：構成比)</p> <p>22% 医師とよく相談し、どこまでつたえてOKかを明確にしなければいけない。</p> <p>9% 上司、上層部の理解。現在の業務のように入り入れたいか。医師とのコミュニケーションづくり。</p> <p>31% 検査説明をする時間。人員不足のため話が前に進まない。</p> <p>20% まず、臨床検査技師そのものを知ってもらう必要があると感じた。</p> <p>15% 医師と技師が良いコミュニケーションを作り、説明をどのように行うかの明確さが必要に感じた。</p> <p>3% 病歴側の理解を得ることがとても困難な気がします。</p> <p>情報収集能力とコミュニケーション能力の向上。</p> <p>臨床検査技師 本人のやる気！</p>					合計 100%

実際のカリキュラムが異なる場合はアンケートを行った講義名に赤字部分を修正してください。

代表的な内容をピックアップください。

## 一般社団法人岡山県臨床検査技師会 定款

## 第1章 総則

## (名称)

第1条 この法人は、一般社団法人岡山県臨床検査技師会と称する。

## (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を岡山市に置く。

2 この法人は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な場所に設置することができる。これを変更または廃止する場合も同様とする。

## (目的)

第3条 この法人は、臨床検査技師及び衛生検査技師(以下「検査技師」という。)の制度・身分の確立及び学術・技術の向上並びに福利厚生・相互団結の充実を図り、もって検査技師の職能意識を高めることにより、地域住民の健康の保持、増進、発展に寄与することを目的とする。

## (事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 検査及び検査技師の実態調査に関する事
- (2) 学術的な研究、調査及び研修に関する事
- (3) 内外の関連団体との連携に関する事
- (4) 教育制度に関する事
- (5) 会誌の編集・発行に関する事
- (6) 精度管理事業に関する事
- (7) 岡山医学検査学会に関する事
- (8) 表彰に関する事
- (9) 関連学会に関する事
- (10) 会員の福利厚生に関する事
- (11) 自治体との連携に関する事
- (12) 医療安全対策に関する事
- (13) 検査値標準化に関する事
- (14) 地域保健医療の推進に関する事

- (15) 公衆衛生の向上に関する事
- (16) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(事業年度)

第5条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(規律)

第6条 この法人は、理事会の決議により別に定める倫理規程の理念と規範に則り、事業を公正かつ適正に運営し、第3条に掲げる目的の達成と社会的信用の維持・向上に努めるものとする。

## 第2章 会 員

(法人の構成員)

第7条 この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「一般法人法」という。)上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するため入会した個人又は団体
- (3) 名誉会員 この法人に功労のあった者又は学識経験者で社員総会(以下「総会」という。)において推薦、承認された者

(入会)

第8条 正会員は臨床検査技師又は衛生検査技師免許を有するものとする。

2 正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、理事会の決議により別に定める入会申込書により申し込むものとする。

(入会金及び会費)

第9条 正会員及び賛助会員は、この法人の活動に必要な経費に充てるため、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(任意退会)

第10条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

#### (除名)

第11条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、第20条第2項に定める総会の特別決議によって当該会員を除名することができる。この場合、その会員に対し、総会の1週間前までに、理由を付して除名する旨を通知し、総会において、決議の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この法人の定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他の除名すべき正当な事由があるとき。

#### (会員資格の喪失)

第12条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。
- (2) 当該会員が死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が解散したとき。
- (3) 催促の期限を超過して会費の支払い義務が履行されなかったとき。
- (4) 総正会員が同意したとき。

#### (会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第13条 会員が前3条の規定によりその資格を喪失したときは、この法人に対する会員としての権利を失い、義務を免れる。正会員については、一般法人法上の社員としての地位を失う。ただし、未履行の義務は、これを免れることはできない。

2 この法人は、会員がその資格を喪失しても、既納の入会金、会費その他の拠出金品は、これを返還しない。

### 第3章 総会

#### (構成)

第14条 総会は、正会員をもって構成する。

- 2 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。
- 3 第1項の総会をもって、一般法人法上の社員総会とする。

#### (権限)

第15条 総会は、次の事項を決議する。

- (1) 役員を選任及び解任
- (2) 役員報酬の額又はその規程
- (3) 定款の変更

- (4) 各事業年度の事業報告及び決算の承認
  - (5) 入会の基準並びに会費及び賛助会費の金額
  - (6) 会員の除名
  - (7) 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲受け
  - (8) 解散及び残余財産の処分
  - (9) 合併並びに事業の全部及び事業の重要な一部の譲渡
  - (10) 理事会において総会に付議した事項
  - (11) 前各号に定めるもののほか、一般法人法に規定する事項及びこの定款に定める事項
- 2 前項にかかわらず、個々の総会においては、第17条第3項の書面に記載した総会の目的である事項以外の事項は、決議することができない。

#### (開催)

第16条 この法人の総会は、定時総会及び臨時総会の2種とする。

- 2 定時総会は、毎年1回事業年度終了後3か月以内に開催する。
- 3 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
  - (1) 理事会において開催の決議がなされたとき。
  - (2) 議決権の10分の1以上を有する正会員から、総会の目的である事項及び招集の理由を記載した書面により招集の請求が理事にあったとき。
- 4 前項第2号の請求をした正会員は、次の場合には裁判所の許可を得て、総会を招集することができる。
  - (1) 請求後遅滞なく招集の手続きが行われないうとき。
  - (2) 請求があった日から6週間以内の日を総会の日とする総会の招集の通知が発せられない場合。

#### (招集)

- 第17条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。ただし、すべての正会員の同意がある場合には、書面又は電磁的方法による議決権の行使を認める場合を除き、その招集手続を省略することができる。
- 2 会長は、前条第3項の規定による請求があったときは、その日から6週間以内の日を臨時総会の招集通知を発しなければならない。
  - 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催日の1週間前までに通知しなければならない。ただし、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法により、議決権を行使することができるようにするときは、2週間前までに通知しなければならない。

(議長)

第18条 総会の議長は、その総会において、出席正会員の中から選出する。

(定足数)

第19条 総会は、総正会員の過半数の出席がなければ開催することができない。

(決議)

第20条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した正会員の議決権の過半数をもって決する。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令又はこの定款で定めた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。

(書面決議等)

第21条 総会に出席できない正会員は、予め通知された事項について書面又は電磁的方法により議決し、他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。

2 前項の場合における前2条の規定の適用については、その正会員は出席したものとみなす。

3 理事又は正会員が、総会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第22条 理事が正会員の全員に対し、総会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を総会に報告することを要しないことについて、正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の総会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第23条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成しなければならない。

2 議長及び出席した**理事 正会員の中から議長が指名する議事録署名人2人**は、前項の議事録に署名又は記名押印するものとする。

(総会規程)

第24条 総会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める総会規程による。

## 第4章 役員等及び理事会

### 第1節 役員等

(種類及び定数)

第25条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 20名以上25名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。

3 理事のうち数名を一般法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とすることができる。

(選任等)

第26条 理事及び監事は理事会の決議により別に定める役員選任規程により、総会の決議によって選任する。

2 代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から定める。

3 理事会は、その決議によって前項で選定された業務執行理事より副会長3名、専務理事及び常務理事をそれぞれ若干名、選出することができる。

4 監事は、この法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

5 監事は、この法人の正会員以外から選出することができる。

(理事の職務・権限)

第27条 理事は、理事会を構成し、この定款の定めるところにより、この法人の業務執行の決定に参画する。

2 会長は、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐し、この法人の業務を執行する。また、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって、会長の業務執行に係る職務を代行する。

4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、この法人の業務を執行する。また、会長及び副会長に事故があるとき

又は会長及び副会長が欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって、会長の業務執行に係る職務を代行する。

- 5 常務理事は、この法人の業務を分担執行する。また、専務理事に事故があるとき又は専務理事が欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって、その職務を代行する。
- 6 会長、副会長、専務理事、常務理事及びそれ以外の業務を執行する理事の権限は、理事会の議決により別に定める組織運営規程による。
- 7 代表理事及び業務執行理事は、毎事業年度に4カ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

#### (監事の職務権限)

第28条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行の状況を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること。
- (2) この法人の業務及び財産の状況を調査すること、並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告書等を監査すること。
- (3) 理事会に出席し、必要があると認めるときは意見を述べること。
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をする恐れがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認められるときは、これを理事会に報告すること。
- (5) 前項の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求のあった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること。
- (6) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があるときは、その調査の結果を総会に報告すること。
- (7) 理事がこの法人の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をする恐れがある場合において、その行為によってこの法人に著しい損害が生ずる恐れがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること。
- (8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること。

#### (任期)

第29条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 役員は、第25条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任

された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(解任)

第30条 役員は、総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬等)

第31条 理事及び監事は無報酬とする。

2 役員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員等の費用に関する規程による。

(取引の制限)

第32条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにするこの法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにするこの法人との取引

(3) この法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間におけるこの法人とその理事との利益が相反する取引

2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく理事会に報告しなければならない。

3 前2項の取扱いについては、第45条に定める組織運営規程によるものとする。

(名誉会員及び顧問)

第33条 この法人に、名誉会員及び若干名の顧問を置くことができる。

2 名誉会員及び顧問は、会員の中から、理事会において任期を定めた上で選任する。

3 名誉会員及び顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

(名誉会員及び顧問の職務)

第34条 名誉会員及び顧問は、会長の諮問に応え、会長に対し、意見を述べることができる。

## 第2節 理事会

(設置)

第35条 この法人には理事会を設置する。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

( 権限 )

第 3 6 条 理事会は、この定款に別に定めるもののほか、次の職務を行う。

- (1) 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定
- (2) 規則の制定、変更及び廃止に関する事項
- (3) 前各号に定めるもののほかこの法人の業務執行の決定
- (4) 理事の職務の執行の監督
- (5) 会長、副会長、専務理事、常務理事及び業務執行理事の選定及び解職

2 理事会は、次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。

- (1) 多額の借財
- (2) 重要な使用人の選任及び解任
- (3) 従たる事務所その他の重要な組織の設置、変更及び廃止
- (4) 内部管理体制の整備

( 種類及び開催 )

第 3 7 条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の 2 種とする。

2 通常理事会は、毎年 6 回以上開催する。

3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めたとき。
- (2) 会長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって会長に招集の請求があったとき。
- (3) 前号の請求があった日から 5 日以内に、その請求があった日から 2 週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合において、その請求をした理事が招集したとき。
- (4) 第 2 8 条第 5 号の規定により、監事から会長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき。

( 招集 )

第 3 8 条 理事会は、会長が招集する。ただし、前条第 3 項第 3 号により理事が招集する場合及び同項第 4 号により監事が招集する場合を除く。

2 会長は、前条第 3 項第 2 号又は第 4 号に該当する場合は、その請求があった日から 5 日以内に、その請求があった日から 2 週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知を発しなければならない。

3 理事全員改選直後の理事会は、各理事がこれを招集することができる。

4 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の 1 週間前までに、各理事及び各監事に対して通知しなければならない。

5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく理事会を開催することができる。

(議長)

第39条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(定足数)

第40条 理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

(決議)

第41条 理事会の決議は、この定款に別段の定めがある場合を除き、決議に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(決議の省略)

第42条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、この限りでない。

(報告の省略)

第43条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第27条第7項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第44条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は、これに署名若しくは記名押印又は電子署名をしなければならない。

(理事会規則)

第45条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める組織運営規程による。

## 第5章 資産及び会計

(財産の種別)

第46条 この法人の財産は、基本財産及びその他の財産の2種類とする。

2 基本財産は、この法人の目的である事業を行うために不可欠なものとして理事会で定めた財産とする。

3 その他の財産は、基本財産以外の財産とする。

(基本財産の維持及び処分)

第47条 基本財産についてこの法人は適正な維持及び管理に努めるものとする。

2 やむを得ない理由により基本財産の一部を処分又は担保に供する場合には、理事会において、議決に加わることのできる理事の3分の2以上の議決を得なければならない。

3 基本財産の維持及び処分について必要な事項は、理事会の決議により別に定める会計事務取扱規程によるものとする。

(財産の管理・運用)

第48条 この法人の財産の管理・運用は、会長が行うものとし、その方法は、理事会の決議により別に定める会計事務取扱規程によるものとする。

(事業報告及び決算)

第49条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経た上で、定時総会において承認を得るものとする。

2 この法人は、前項の定時総会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、貸借対照表を公告するものとする。

(長期借入金及び重要な財産の処分又は譲受け)

第50条 この法人の資金を借入しようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会において総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の議決を経なければならない。

2 この法人が重要な財産の処分又は譲受けを行おうとするときも、前項と同じ議決を経なければならない。

(会計原則等)

第51条 この法人の会計は、一般に公正妥当と認められる会計の慣行に従うものとする。

2 この法人の会計処理に関し必要な事項は、理事会の議決により別に定める会計事務取扱規程によるものとする。

第52条 この法人は、剰余金の分配を行なうことができない。

## 第6章 定款の変更、合併等、解散及び清算

(定款の変更)

第53条 この定款は、総会において、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数の決議をもって変更することができる。

(合併等)

第54条 この法人は、総会において、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の議決により、他の一般法人法上の法人との合併等、事業の全部又は一部の譲渡及び公益目的事業の全部を廃止することができる。

(解散)

第55条 この法人は、一般法人法第148条第1号、第2号及び第4号から第7号までに規定する事由によるほか、総会において、総正社員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数の決議により解散することができる。

(残余財産の処分)

第56条 この法人が解散した場合の残余財産は、総会において総正会員の議決権の4分の3以上の同意を経、かつ、岡山県知事の認可を得て、この法人と類似の目的を持つ他の公益法人に寄附するものとする。

## 第7章 委員会

(委員会)

第57条 この法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、委員会を設置することができる。

- 2 委員会の委員は、会員及び学識経験者のうちから、理事会が選任する。
- 3 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 第8章 事務局

(設置等)

第58条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

- 3 事務局長及び重要な職員は、会長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が理事会の決議により別に定める。

(備置き帳簿及び書類)

第59条 主たる事務所には、常に次に掲げる帳簿及び書類を備え置かなければならない。

- (1) 定款
  - (2) 会員名簿(及び会員の異動に関する書類)
  - (3) 理事及び監事の名簿
  - (4) 認定、許可、認可等及び登記に関する書類
  - (5) 定款に定める機関(理事会及び総会)の議事に関する書類
  - (6) 財産目録
  - (7) 役員等の費用に関する規定
  - (8) 事業計画書及び収支予算書
  - (9) 事業報告書及び計算書類等
  - (10) 監査報告書等
  - (11) その他法令で定める帳簿及び書類
- 2 前項各号の帳簿及び書類等の閲覧については、法令の定めによるほか、第59条第2項に定める情報公開及び閲覧規程によるものとする。

## 第9章 情報公開及び個人情報の保護

(情報公開)

第60条 この法人は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。

- 2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める情報公開及び閲覧規程による。

(個人情報の保護)

第61条 この法人は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期するものとする。

- 2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(公告)

第62条 この法人の公告は、電子公告による。

- 2 やむをえない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載する方法による。

- 3 この法人の貸借対照表の公告は、第1項にかかわらず、定時総会毎にその終結の日後、5年を経過する日までの間、継続してインターネットに接続された自動公衆送信装置を使用する方法による。

## 第10章 補 則

(委任)

第63条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

### 附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第5条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の代表理事は岡本由美、業務執行理事は木村泰治、黒川幸徳、河口勝憲とする。

## 役員辞任願

辞任役職名	一般社団法人岡山県臨床検査技師会 理事
辞任理由	私は、このたび一身上の都合により、来る平成29年3月10日をもって一般社団法人岡山県臨床検査技師会理事を辞任したたく、お届けいたします。
<p>私議、この度 上記理由により平成29年 3月10日付をもち この会の役員を辞任いたしたくご承認下さいますようお願いいたします。</p> <p>平成29年 3月 7日</p> <p>氏名 : 丹下雅貴 </p> <p>一般社団法人岡山県臨床検査技師会長 殿</p>	

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	資料04-71
	藤本	植本	福島	河口	岡本				

### 講演会等企画

予 算 書	提出日: 2017/03/15	決 算 書	提出日:
-------	-----------------	-------	------

企 画 分 野	生物化学分析部門 ( )		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 藤本 一満			
テ - マ ・ 内 容	免疫検査の基礎とデータ判読(演習有り)		
日 時	平成29年7月15日(土) 13時00分 ~ 17時00分		
会 場	倉敷芸術科学大学 2号館2101室 TEL: 086-440-1039		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 50 名	受講料 : 500 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員 )	(氏名)	(役職名)
	290310	藤本一満	准教授
共 催	(施設名)		
	倉敷芸術科学大学		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加	人 (うち講師・実務委員	人)
参加費	25,000				最終参加	人 (うち講師・実務委員	人)
参加協賛収入	0				【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)		
雑収入	0					円	円
						円	円
						円	円
収入小計	25,000					円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 1 名 (予算時講師人数)		
講師料	0				氏名	坂井 康律	会員番号
旅費	0				所属	DSファーマバイオメディカル株式会社	
講師支払額	0				肩書き		
講師謝金	0				備考		
講師料	10,000				氏名	藤本 一満	会員番号 290310
旅費	0				所属	倉敷芸術科学大学	
講師支払額	10,000				肩書き	准教授	
講師謝金	11,137				備考		
講師料	0				氏名	未定	会員番号
旅費	0				所属	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社	
講師支払額	0				肩書き		
講師謝金	0				備考		
講師料	0				氏名	工藤 僚康	会員番号
旅費	0				所属	デンカ生研株式会社 試薬学術部	
講師支払額	0				肩書き		
講師謝金	0				備考		
会場費	0				【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07'出張報告書,を提出)		
旅費日当	5,000				実務委員5名の交通費		
会場謝礼	3,240				芸科大守衛室への謝礼		
消耗品・雑費							
運営費	8,240						
雑費	5,623				【雑費他詳細】		
支出小計	25,000						
収支差額	0						

(社)岡山県臨床検査技師会長 様

講師派遣	理事	担当部長	会計	副会長	岡本		
	藤本	植本	福島	河口			

### 講演会等講師派遣依頼書

予算書提出: 2017/03/15

企画分野	生物化学分析部門							
下記の通り講師派遣および協力依頼の申請をいたします。 提案者: 藤本 一満								
テーマ・内容	免疫検査の基礎とデータ判読(演習有り)							
日時	平成29年7月15日(土) 13時00分 ~ 17時00分							
会場	倉敷芸術科学大学 2号館2101室 TEL: 086-440-1039							
生涯教育点数	生涯教育点数	: 専門	- 20	募集人員	: 50 名	受講料	: 500 円	
	生涯教育点数	:	-	募集人員	:	名	受講料	: 円
司 会	(会員)	290310	(氏名)	藤本一満	(役職名)	准教授	(施設名)	倉敷芸術科学大学
共催								
<b>講師派遣依頼</b>								
講師	氏名	坂井 康律			会員 No.			
	演題	抗体の作成法						
	(本人宛) <input type="radio"/> 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	施設名	DSファーマバイオメディカル株式会社			肩書き		
		施設住所	〒					
	自宅住所	〒						
講師	(施設長等宛) <input type="radio"/> 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	氏名				肩書き		
		施設名						
		施設住所	〒					
		氏名	藤本一満			会員 No.	290310	
講師	(本人宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	演題	結核および結核感染症検査(QFT、T-SPOT)について					
		施設名	倉敷芸術科学大学 生命医科学科			肩書き	准教授	
		施設住所	〒 712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地					
		自宅住所	〒					
講師	(施設長等宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	氏名	河野伊一郎			肩書き	学長	
		施設名	倉敷芸術科学大学					
		施設住所	〒 712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地					
		氏名	未定			会員 No.		
講師	(本人宛) <input type="radio"/> 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	演題	B型肝炎の現状および最新の検査・治療					
		施設名	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社			肩書き		
		施設住所	〒					
		自宅住所	〒					
講師	(施設長等宛) <input type="radio"/> 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	氏名				肩書き		
		施設名						
		施設住所	〒					
		氏名	工藤 僚康			会員 No.		
講師	(本人宛) <input type="radio"/> 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	演題	イムノクロマトの構造と判定における注意点(演習)					
		施設名	デンカ生研株式会社 試薬学術部			肩書き		
		施設住所	〒 -					
		自宅住所	〒 -					
協力依頼	(施設長等宛) <input type="radio"/> 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	氏名				肩書き		
		施設名						
		施設住所	〒 -					
		氏名				肩書き		
社 名	社 名				協力金	円		
	送付氏名				協力金	円		
社 名	社 名				協力金	円		
	送付氏名				協力金	円		
社 名	社 名				協力金	円		
	送付氏名				協力金	円		
社 名	社 名				協力金	円		
	送付氏名				協力金	円		

(会報担当者宛)

## 会報掲載依頼書

予算書提出: 2017/03/15

企 画 分 野	生物化学分析部門 ( )		
担 当 者	藤本 一満		
施 設 名・所 属	倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科		
施 設 住 所	岡山県連島町西之浦2640番地		
電 話 番 号・F A X	086-440-1039		
E m a i l	<a href="mailto:fujimoto@sci.kusa.ac.jp">fujimoto@sci.kusa.ac.jp</a>		
テ ー マ・内 容	免疫検査の基礎とデータ判読(演習有り)		
注 意 事 項 伝 達 事 項	・大学までは、新倉敷駅から両備バスあるいは自家用車をご利用下さい。尚、自家用車の方は、入場門で守衛室で声をかけて入場してください。(駐車料金は無料です)		
講 習 会 の ポ イ ン ト  この内容を会報に掲載します。	免疫検査の基礎とデータ判読に役立つ内容としました。 講演内容は、免疫試薬に含まれる抗体の作成法について、結核の現状および結核感染症検査のQFTとT-SPOTについて、B型肝炎の現状および最新の検査・治療法について、イムノクロマトの構造、原理の説明後、判定法および異常反応について(演習)です。 尚、参加希望者は日臨技会員専用サイトの会員メニューから事前に参加申込みをして下さい(演習があるため事前に人数把握が必要のため)。		
日 時	平成29年7月15日(土) 13時00分 ~ 17時00分 ~		
会 場	倉敷芸術科学大学 2号館2101室		TEL: 086-440-1039
生涯教育点数	生涯教育点数	: 専門 - 20	募集人員 : 50 名 受講料 : 500 円
	生涯教育点数	: -	募集人員 : 名 受講料 : 円
共 催			
講 師			
講 師	氏 名	坂井 康律	会 員 No.
	演 題	抗体の作成法	
	施 設 名	DSファーマバイオメディカル株式会社	肩 書 き
講 師	氏 名	藤本一満	会 員 No. 290310
	演 題	結核および結核感染症検査(QFT、T-SPOT)について	
	施 設 名	倉敷芸術科学大学 生命医科学科	肩 書 き 准教授
講 師	氏 名	未定	会 員 No.
	演 題	B型肝炎の現状および最新の検査・治療	
	施 設 名	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社	肩 書 き
講 師	氏 名	工藤 僚康	会 員 No.
	演 題	イムノクロマトの構造と判定における注意点(演習)	
	施 設 名	デンカ生研株式会社 試薬学術部	肩 書 き
協 力 各 社			
社 名			
社 名			
社 名			
社 名			

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	福島	河口	岡本
							藤田	植本			

### 講演会等企画

予 算 書	提出日： 2016/11/25	決 算 書	提出日： 2017/03/06
-------	-----------------	-------	-----------------

企 画 分 野	その他 ( 病理、遺伝子染色体 )		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者： 藤田 勝			
テ - マ ・ 内 容	日本臨床検査技師会中四国支部病理・遺伝子染色体部門合同研修会		
日 時	平成29年2月16日 (木) 9時00分 ~ 17時00分		
会 場	岡山大学医学部臨床講義棟 TEL: 086-235-7760		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 30 名	受講料 : 3,000 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員 )	(氏名)	(役職名)
	111008	藤田勝	主任臨床検査技師
共 催	(施設名)		
	岡山大学病院		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 77 人 (うち講師・実務委員 12 人)		
参 加 費	190,000	295,000	105,000	補助金 + 参加費	最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)		
参 加 協 賛 収 入	0	0	0		【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)		
雑 収 入						円	円
						円	円
						円	円
収 入 小 計	190,000	295,000	105,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 4 名 (予算時講師人数)		
講 師 料	30,000	30,000	0	10000*3	氏 名	会員講師3名	会員番号
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額	30,000	30,000	0		肩 書 き		
講 師 謝 金	33,411	33,411	0		備 考		
講 師 料	40,000	40,000	0	30000 + 10000	氏 名	非会員講師3名	会員番号
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額	40,000	40,000	0		肩 書 き		
講 師 謝 金	44,548	44,548	0		備 考		
講 師 料					氏 名		会員番号
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額					肩 書 き		
講 師 謝 金					備 考		
講 師 料					氏 名		会員番号
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額					肩 書 き		
講 師 謝 金					備 考		
会 場 費	30,000	46,130	16130		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)		
旅 費 日 当	54,500	52,150	2,350		実務委員日当3000*6・講師実務委員交通費34150・テキスト印刷物品費17676		
通 信 費							
消 耗 品 ・ 雑 費	20,000	17,676	2,324				
運 営 費	74,500	69,826	4,674				
雑 費	7,541	8,098	557		【雑費他詳細】		
					講師水代・郵送費		
支 出 小 計	190,000	202,013	12,013				
収 支 差 額	0	92,987					

## 日本臨床検査技師会中四国支部病理・遺伝子染色体部門合同研修会

## 決算書

中四国支部

日本臨床検査技師会中四国支部病理・遺伝子染色体部門合同研修会

責任者 藤田 勝

印

(2017年3月5日現在)

(単位:円)

科目	実績	予算	差異	執行率
収入				
示出展料収益	0	0	0	-
広告収益	0	0	0	-
参加費収益	195,000	90,000	105,000	217%
受取利息	0	0	0	-
雑収益	0	0	0	-
収入計	195,000	90,000	105,000	217%
支出				
旅費交通費(事)	52,150	54,500	2,350	96%
通信運搬費(事)	0	0	0	-
消耗品費(事)	0	0	0	-
賃借料(事)	46,130	30,000	16,130	154%
諸謝金(事)	77,959	77,959	0	100%
委託費(事)	0	0	0	-
会議費(事)	0	0	0	-
筆耕印刷費(事)	17,676	20,000	2,324	88%
広報費(事)	0	0	0	-
租税公課	0	0	0	-
雑費(事)	8,098	7,541	557	107%
支出計	202,013	190,000	12,013	106%
他会計繰入	100,000	100,000	0	100%
他会計繰戻	0	0	0	-
収支差額	92,987	0	92,987	-

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	福島	河口	岡本
	木村	植本	福島	河口	岡本		木村	植本	福島	河口	岡本

### 講演会等企画

予算書 提出日: 2016/11/24

決算書 提出日: 2017/03/01

企 画 分 野	移植検査部門 ( )		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 木村 泰治			
テ - マ ・ 内 容	「 第2回 輸血の困ったを解決する 」		
日 時	平成29年2月26日 (日) 13時00分 ~ 15時00分		
会 場	岡山大学病院マスカットキューブ TEL:		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 85 名	受講料 : 500 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員 )	(氏名)	(役職名)
	334666	文屋涼子	川崎医科大学附属病院
	334138	仲井富久江	副主任 川崎医科大学附属病院
共 催			

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 69 人 (うち講師・実務委員 8 人)		
参 加 費	42,500	30,500	12,000		最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)		
参 加 協 賛 収 入	0				【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)		
雑 収 入						円	円
						円	円
						円	円
収 入 小 計	42,500	30,500	12,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 1 名 (予算時講師人数)		
講 師 料					氏 名	会員番号	
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額					肩 書 き		
講 師 謝 金					備 考		
講 師 料					氏 名	会員番号	
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額					肩 書 き		
講 師 謝 金					備 考		
講 師 料					氏 名	会員番号	
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額					肩 書 き		
講 師 謝 金					備 考		
会 場 費	6,128	6,800		1,532円/1時間	【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07'出張報告書,を提出)		
旅 費 日 当	20,000	16,100	3,900		回答者3名		
通 信 費					1時間(5,000円x1名)、20分(2,000円x2名)		
消 耗 品 ・ 雑 費					実務委員5名(500円x5名)		
運 営 費	20,000	16,100	3,900		交通費8名(4,600円)		
雑 費	16,372	7,000	9,372		【雑費他詳細】		
					印刷10円x7枚x100名=7,000円		
支 出 小 計	42,500	29,900					
収 支 差 額	0	600					

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	福 島	河 口	岡 本
	植本	植本	福島	河口	岡本		植本	植本			

### 講演会等企画

予 算 書	提出日: 2016/11/21	決 算 書	提出日:
-------	-----------------	-------	------

企 画 分 野	企画分野をリストから入力。その他の場合は下段に分野を入力。 ( 第47回岡山県医学検査学会 特別講演 )		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 植本 美佐夫			
テ - マ ・ 内 容	「岡山認知症診療から見えてきたこと」「認知症への臨床検査技師としてのかわり方」		
日 時	平成29年3月5日(日) 9時00分 ~ 17時00分		
会 場	川崎医療短期大学200号大講義室 他 TEL: 086-462-1111		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 300 名	受講料 : 1,000 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	330803	岡田 健	医療技術部長
	334729	岡本 由美	医療安全管理室長
共 催	施設名: 岡山大学病院 医療法人天和会 松田病院		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加	367 人 (うち講師・実務委員 35 人)	
参 加 費	300,000	320,000	20,000	実務委員参加費免除	最終参加	人 (うち講師・実務委員 人)	
参 加 協 賛 収 入	320,000	320,000	0	セミナー各社2名免	【協賛詳細】 (予算 8 社) (決算 8 社)		
雑 収 入				技師会会員329名 (他県参加含む)	200号:午前 2社	80,000 円	80,000 円
					200号:午後 2社	80,000 円	80,000 円
					221号:午前 2社	80,000 円	80,000 円
					221号:午後 2社	80,000 円	80,000 円
収 入 小 計	620,000	640,000	20,000				
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 1 名 (予算時講師人数)		
講 師 料	30,000	30,000	0		氏 名	山下 徹	会員番号
旅 費	3,000	3,000	0		所 属	岡山大学病院 神経内科	
講 師 支 払 額	33,000	33,000	0		肩 書 き	講師	
講 師 謝 金	36,752	36,752	0		備 考		
講 師 料	20,000	20,000	0		氏 名	高村 好実	会員番号 380479
旅 費	20,000	20,000	0		所 属	市立宇和島病院	
講 師 支 払 額	40,000	40,000	0		肩 書 き	副技師長	
講 師 謝 金	44,548	44,548	0		備 考	愛媛県臨床検査技師会会長	
講 師 料					氏 名		会員番号
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額					肩 書 き		
講 師 謝 金					備 考		
講 師 料					氏 名		会員番号
旅 費					所 属		
講 師 支 払 額					肩 書 き		
講 師 謝 金					備 考		
会 場 費	3,240	3,078	162		【運営費等詳細】 (会員交通費は「様式07 出張報告書」を提出)		
旅 費 日 当	10,000	5,950	4,050		会場費:手土産代(3,078円)		
通 信 費	10,000	0	10,000		旅費日当:実務委員交通費(5,950円)		
消 耗 品 ・ 雑 費	10,000	168	9,832		消耗品・雑費:講師飲料水(168円)		
運 営 費	30,000	6,118	23,882				
雑 費	265,460	2,870	262,590		【雑費他詳細】		
弁 当 代	240,000	176,000	64,000	@800円 × 220	雑費:講師接待用コーヒー・お茶(881円)		
					お茶菓子(1,989円)		
支 出 小 計	620,000	269,366	350,634		弁当代:220人分(176,000円)		
収 支 差 額	0	370,634					

### 岡臨技3力月間予定表

開催日： 4月6日                      開催地：岡臨技事務所（岡山市）

期 間：平成29年4月1日～平成29年8月31日

		年	月	日	曜	活 動（行事）・開催地・内 容（概要）	
会議等	29	4		6	木	常務理事会・・・技師会事務所	
				20	木	総務担当会議・・・技師会事務所 学術担当会議・・・技師会事務所 渉外担当会議・・・済生会吉備病院	
				11	木	理事会・・・技師会事務所	
		5					
		6	11	日			常務理事会・・・川崎医療短期大学 総務担当会議・・・川崎医療短期大学
			15	木			学術担当会議・・・技師会事務所 渉外担当会議・・・済生会吉備病院
		7	6	木			理事会・・・技師会事務所
		8	3	木			常務理事会・・・技師会事務所 総務担当会議・・・技師会事務所
			17	木			学術担当会議・・・技師会事務所 渉外担当会議・・・済生会吉備病院
講演会等	29	4		21	金	津山地区講演会「凝固検査の基礎から最新情報について」 会場：津山中央病院 研修センター 2階研修室	
		5					
		6	3	土			一般検査部門講演会「初心者・日当者のための尿検査講座」 会場：川崎医療短期大学 体育館
			11	日			平成29年度（一社）岡臨技 定期総会 会場：川崎医療短期大学 体育館
		23	金			真庭地区講演会「甲状腺ホルモンについて」 会場：金田病院 研修ホール	
		7	8	土			平成29年度 岡山県臨床検査技師会新入会員研修会・懇親会 会場：サンビーチ岡山
			15	土			生物化学分析部門講演会「免疫検査の基礎とデータ判読」 会場：倉敷芸術科学大学 2号館2101室
		8					

同好会等	29	4				
		5				
		6				
		7				
	8					
	日臨技	29	4			
			5	13	土	理事会
			6	17	土	第66回日本医学検査学会
				18	日	
23				金	法人化55周年・創立65周年記念式典	
24				土	平成29年度定時総会	
7						
8						